要請番号（JL60318A08）

募集終了

国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ジブチ	A101 コミュニティ開発		個別	交替 2代目	2年	・2018/3・2018/4・2019/1

【配属機関概要】

1）受入省庁名（日本語）

外務・国際協力省

2）配属機関名（日本語）

LWF (エルダブリュエフ)
NGO

3）任地（ ジブチ市 ） JICA事務所の所在地（ ジブチ市 ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（ 徒歩 で 約 0.0 時間 ）

4）配属機関の規模・事業内容

世界各国のキリスト教ルター派教会のための連帯組織が母体のNGOで、ジブチではケニア事務所の支部として事務所が発足、2014年に地方難民キャンプ(アリアデ、ホルホル)において、2015年に首都において難民支援業務を開始した。UNHCRから業務委託を受けて、周辺国から流入してきた難民に対し、コミュニティ・サービス、教育、身体障害者支援、就職技術指導などを展開している。LWF以前にUNHCRの業務委託先であったAPEF(家族保護協会)には、コミュニティ開発の青年海外協力隊(JV)3名、青少年活動JV2名が派遣された。現在活動中のJV2名(2016年度3次隊)は、首都での活動を中心としている。

【要請概要】

1）要請理由・背景

上述の地方難民キャンプでは、これまで数代にわたるコミュニティ開発JVが女性グループの収入向上のために『おみやげプロジェクト』として、手工芸品の製作・販売を支援してきた。また、青少年活動JVが子供たちを対象に情操教育的活動や保健教育を実施してきた。同様の活動を首都難民に対しても展開することが求められ、現在活動中のコミュニティ開発JVは、首都郊外にある配属先のセンターにおいて、難民女性のための手芸教室の運営を担当する傍ら、養成学校などで裁縫を指導する家政・生活改善JV2名と連携して、アリアデ難民キャンプの女性グループも対象に含む『おみやげプロジェクト』の実施を推進している。同配属先の青少年活動JVは、就学できていない首都の難民児童を対象にした諸活動の実施サポートを行っている。配属先からは、両JVの活動を統合した支援の継続が求められており、コミュニティ開発JVの後任要請となった。

2）予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

1.配属先関係者の協力の下、難民女性を対象に、既存の活動(手工芸品の製作・販売など)の自立的継続を支援したり、活動対象者のニーズに合わせて新しい活動の企画・運営を促進したりする。
2.配属先が難民の児童を対象に計画する教育的活動やレクリエーション、スポーツ活動に関し、実施をサポートしたり、改善や効果向上を図ったりする。

3）隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

手芸用具、足踏みミシン、デスクトップ型PC(Windows7)、スポーツ用具、絵描き用具

4）配属先同僚及び活動対象者

ジブチ事務所代表:ケニア人男性40歳代
副代表(地方事務所長):女性30歳代
センター長:女性40歳代
コミュニティ・サービス及び教育担当:エチオピア人男性1名、ソマリア人男性1名
活動対象者:女性20-40歳代、児童(5-13歳)

5）活動使用言語	6）生活使用言語	7）選考指定言語
英語	フランス語	英語(レベル:B)

【資格条件等】

[免許]：（　　）　　[学歴]：（　　）　備考：

[性別]：（女性）　備考：対象者が女性のみの活動を含む為　[経験]：（　　）　備考：

[参考情報]：

・フィールド/市場調査、販売促進等の経験

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（熱帯夏季少雨気候）　気温：（22～39℃位）　[電気]：（不安定）

[通信]：（インターネット可　電話可）　[水道]：（不安定）

【特記事項】

ジブチでは6-8月は最高気温45度以上を記録する
訓練言語はフランス語

COPYRIGHT(C)1995-2015 JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY. ALL RIGHTS RESERVED.